



医療法人  
藤井会

香芝生喜病院

## 小児内分泌専門外来のご案内

「お子さんの成長で不安なことがあれば、  
小児内分泌専門医にご相談ください。」

<ご挨拶>

こどもの成長は驚きと発見に満ち溢れています。幼児期から思春期の体格変化は毎日一緒に暮らしていると気づきにくいですが、ふと過去を振り返ると、いつの間にこんなに大きくなったのだろうと時間の流れを体感させられます。成長発達には大きな個人差がありますが、自分のこどもに成長発達の遅れがあると親としては大きな不安を感じてしまいます。小児科医はこどもの病気を診断、治療する総合診療医ですが、なかでも成長に関わる診療が得意なのが小児内分泌専門医です。お子さんの成長で不安なことがあれば、母子手帳などの成長記録を持って小児内分泌専門医にご相談ください。

【午前診】 9：00～12：30（受付は8：00～）

診療日	月	火	水	木	金	土
小児科	新宅	新宅	小西	野村	菅原	菅原
小児 内分泌 専門	小西	菅原	鶴原	小西	小西	鶴原

【夜診】 17：00～19：00（受付は16：00～）

診療日	月	火	水	木	金	土
小児科		鶴原		鶴原		

《小児内分泌専門外来についてのお問い合わせ先》

地域医療連携室

TEL：0745-44-8005【直通】



医療法人藤井会

香芝生喜病院

〒639-0252 奈良県香芝市穴虫3300番地3

TEL 0745-71-3113

お問い合わせ

## 小児内分泌専門外来は

以下のような幅広く**小児の成長全般をカバーする**専門診療領域です。

【 低身長 】 乳幼児期の成長は栄養状態の影響を強く受けますが、低身長でよくあるのは生後 6 か月以降に体重の増えが落ちて、身長の伸びが落ちてくるパターンです。学童期以降、身長は直線的に伸びます。体重が減ると身長の伸びが鈍ることはありますが、この時期に身長伸びが悪くなるのは病気の可能性が高いため定期的な計測が重要です。小学校高学年から思春期にかけては、思春期とともに大きな体格変化を遂げます。病気が見つかることはめったにありませんが、この時期は特にお子さん自身が自分の体のことで悩みや不安を抱えていることが多いため、専門診療を通じて不安解消に役立つことがあります。病院に行くことへの抵抗感は強いと思いますが、相談だけでも構いませんので気軽に受診してください。低身長という現象に対して、親として、医師として、こどもたちと一緒にどう向き合うか、今後も一緒に考える機会を大事にしていきたいと思います。

【 下垂体 】 脳下垂体は全身の内分泌系を調整する中枢機関で、全身で重要な役割を果たすホルモンの分泌を調整しています。成長障害や、内分泌系の異常が疑われる場合には下垂体機能の検査、CT や MRI による精密画像検査が必要となります。下垂体機能低下症の原因も様々ですが、成長障害をきっかけに脳腫瘍が発見されることがあります。病気が見つかった場合には極めて高度な医療が必要になることが多いですので、経験豊富な医師の診療を受けることがとても重要です。

【 甲状腺 】 甲状腺の病気は小児内分泌専門診療の中では頻度の高い疾患群です。多彩な症状がゆっくりと進行してくることが多いので、発症から受診に至るまで、数か月から数年かかることもあります。お子さんの様子が何かおかしいときには、医療機関を受診して甲状腺機能をチェックしてもらうことが重要です。一方で、摂食障害に伴う痩せでも甲状腺機能異常をきたすこともあり、学童期の嚥下困難、食事恐怖、思春期以降の神経性食思不振症などが逆に見つかることもあります。

【 思春期が早い・遅い 】 幼児期でも、まれに女性ホルモン作用が強すぎて生理出血を起こしますが、そのような場合は受診してください。小学校高学年になりますと、女兒は女性ホルモン作用が再び強まってきます。思春期開始が早すぎる場合には、思春期を遅らせる治療の適応になることがあります。男児の思春期早発症は女兒と比べて病気の可能性が非常に高いため注意が必要です。小学校高学年男児で多いのは思春期遅発です。男の子は女の子と比べて、少し遅れて思春期が発来しますが、その時期にはかなり幅があります。男児は思春期発来に伴い身長が急速に伸びるため、思春期の遅い男の子は集団の中で一時的に身長が低くなります。周囲との比較が気になる繊細な年頃ですので、専門診療を通じて無用な不安を払拭してあげることができます。

【 夜尿症 】 おねしょは非常に頻度が高く、近年では積極的に治療されています。抗利尿ホルモンを使うことが多く、安全に治療できます。治療がうまくいくと、お子さんのストレス軽減、自尊心の向上、保護者様の負担軽減に寄与できると実感しています。小学校高学年にさしかかって、おねしょが治らない場合にはぜひ受診をご検討ください。